
用語集

頁	牽引	用語	説明
P 1	あ	ICD-11 (国際疾病分類)	国際疾病分類とは、WHO（世界保健機関）が作成した、世界中の疾病、傷害および死因の統計分類。正式には「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」という名称であり、ICDと略される。
P 4	え	疫学調査	積極的疫学調査とは、感染症などの様々な病気について、発生した集団感染の全体像や病気の特徴などを調べることで、今後の感染拡大防止対策に用いることを目的として行われる調査です。国内では保健所や、国立感染症研究所などの公的な機関によって行われる。
P 8	き	ギヤマノン	ギャンブル等依存症の問題の影響を受けた家族等のための自助グループ。ミーティングを県内各所で開催している。
P 8	き	ギャンブラーズ・アノニマス	GAと呼ばれる。本人同士によるギャンブル等依存症からの回復を目指す全国規模の自助グループ。ミーティングを県内各所で開催している。
P 1	き	ギャンブル等依存症	精神疾患のひとつに分類され、医学的な呼称は「ギャンブル障害 Gambling Disorder」(DSM-5 精神障害の診断と統計マニュアル)、2017年までは「病的賭博 Pathological gambling」(ICD-10 国際疾病分類は、世界保健機関 (WHO) が死因や疾病の国際的な統計基準として公表している分類) の呼称も使われた。ICD-11では、「ギャンブル症」と呼称。本計画では、基本法に示された「ギャンブル等依存症」で統一している。

P 25	け	ゲートキーパー	自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができる人のことで、言わば「命の門番」とも位置付けられる人。
P 8	こ	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構（AMED）	医療分野の研究開発の基礎から実用化までの一貫した推進体制の構築、成果の円滑な実用化に向けた体制の充実、研究開発の環境整備を総合的に行うことを目的としている。また、これまで進んでいなかった産学など各機関の連携や治験や創薬などの実用化に力を入るとされる。
P 4	こ	行動嗜癖	行動嗜癖、プロセス嗜癖、過程嗜癖とは、嗜癖の一形態であり、当人の身体的、精神的、社会的、金銭的な幸福に対してネガティブな結果を招くにも関わらず、報酬刺激をもたらす非薬物関連行動へ強迫的に従事している状態。自然報酬とも呼ばれている。
P 4	こ	コントロール障害	自分の意思でやめられない病気
P 1	し	自助グループ・民間 団体	依存症者等本人或いは家族等が集まり「言いつばなし、聴きつばなし」のミーティング開催している。 民間団体は、活動の幅が広く、相談や啓発イベント等にも取り組んでいる。
P 7	し	シームレス	途切れのない、継ぎ目のない、縫い目のない、などの意味

P 4	し	射幸行為	偶然に得られる成功や利益を当てにすること。「—行為」
P47	て	デジタルサイネージ	表示と通信にデジタル技術を活用して平面ディスプレイやプロジェクタなどによって映像や文字を表示する情報・広告媒体である。
P50	て	デビットカード	カードでの支払いと同時にご自身の銀行口座から引き落としがされる仕組みのカード。銀行口座から現金を引き出さずに支払いができる利便性や、銀行口座の残高以上にお金を使いすぎる心配がない。